

クニシールC-31 施工要領書

コンクリート打継水平部・コンクリート打継垂直部



- ①クニシール C-31 を両手でケースから取り出し、水を張った容器の中へ製品を浸します。
(表面に水溶性フィルムを採用しており、水との反応にて溶解します。粘着剤として作用しますので、剥がさずにそのままご利用下さい。)

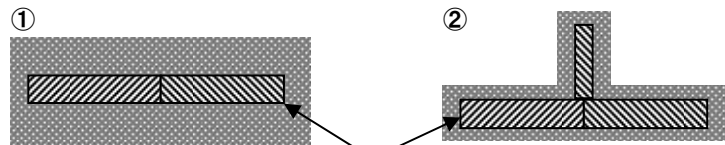


- ②クニシールC-31 をなるべく中央に隙間のないように設置します。下地に凹凸のある場合はよく押しつけて隙間のないように接着させてください。



- ③接合は突き合わせて、手でなじませて一体化させ、隙間のないように接合します。特別な接着剤は不要です。切断も容易です

接合部を上から見た参考例



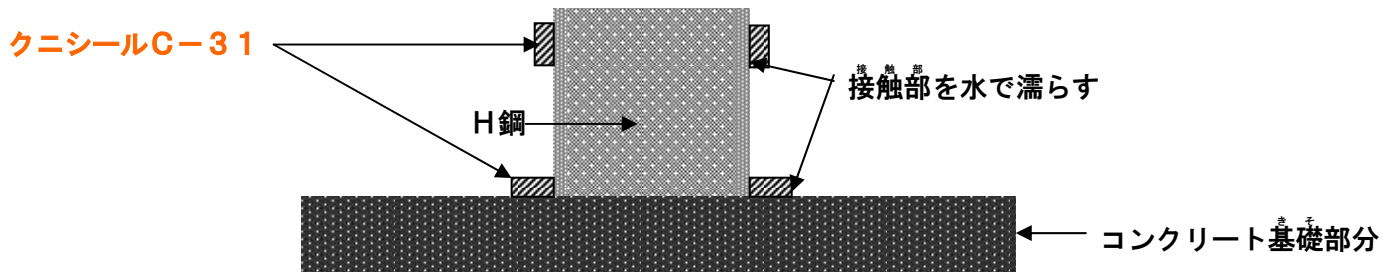
クニシールC-31



- ④クニシールC-31 とコンクリートの境界面が乾燥した後、水溶性フィルムとベントナイトの粘着効果によりコンクリート面にクニシールC-31 がより強固に付着します。

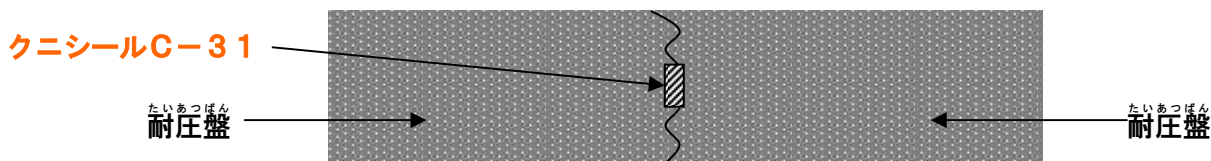
H鋼回り

基本的には、下図のように基礎部分とH鋼との接触部分に、コンクリート打継垂直部の施工方法と同様に設置を行ってください。



耐圧盤・スラブ打継部

基本的には、下図のようにコンクリート打継垂直部の施工方法と同様に設置を行ってください。



注意事項

- コンクリートのかぶり厚は **30mm 以上** 確保してください。
- **クニシールドC-31** 施工後、コンクリート打設までの降雨による事前膨潤が懸念されるために、長時間水に浸かる状態は避け養生を行ってください。
- 施工はなるべく、型枠を建て込む直前に行ってください。
- **クニシールドC-31** は、追従性を重視しているため、非常に柔らかくなっておりますので、右図のように両手で持つようにご注意ください。
- 施工の際、製品表面のフィルムをはがす必要はありません。
- 施工の際、形状が変化しても構いませんので、しっかりと圧着して下さい。
- 確実に固定されていることを確認してから、二次コンクリート打設を行ってください。
- 保管は水濡れのないよう冷暗所をお願いします。

